

和歌山北高等学校北校舎

実施日時	第1回 令和2年8月4日（火） 第2回 令和2年11月5日（木） 第3回 令和3年3月16日（火）
参加者	生徒873名、教職員70名、 延べ計1,871名
実施内容	避難訓練、地震と津波についての学習、マイトイレ作り 等

ねらい

- 1 災害時における危険を認識し、日常的な備えを行うとともに、状況に応じて、的確な判断の下に、自らの安全を確保するための行動ができるようにする。
 - 2 災害発生時及び事後に、進んで他の人々や集団、地域の安全に役立つことができるようにする。
 - 3 自然災害の発生メカニズムをはじめとして、地域の自然環境、災害や防災についての基礎的・基本的事項を理解できるようにする。
 - 4 実際に災害が発生した際、安全に避難できるように避難の方法に慣れておく。
- 津波防災啓発DVD「犠牲者ゼロをめざして～巨大地震を生き抜く授業～」を視聴し、地震、津波について防災知識を高めるための基礎的な学習を行った。また、防災ハンドブックを使用し防災に関する情報を伝達した。
 - 各クラスでホームルーム委員が防災ハンドブックを活用しながら、マイトイレ作成についての趣旨及び手順の説明を行い、生徒全員が新聞紙とペットシートを使用しマイトイレを作成した。

主なプログラム

- 1 DVD鑑賞及びマイトイレ作り
- 2 防災についての学習及びシェイクアウト訓練
- 3 校外避難訓練

概要

- 1 令和2年8月4日（火）5・6限
1年生7クラス280名 職員18名
場所（視聴覚室 会議室 講義室 各クラス）

- 2 令和2年11月5日（木）2限
全校生徒873名 職員60名
場所（各クラス）
 - 事前にシェイクアウト訓練の内容について説明するとともに世界津波の日リーフレット及び災害の記憶を未来に伝えるリーフレットの説明を行う。また、校内避難経路及び校外避難経路の再確認を行った。
 - 10時の校内緊急校内放送により直ちにシェイクアウト訓練を開始した。一分間その場で先ず低く、頭を守り、動かない行動を行った。

3 令和3年3月8日（月）午前中に1年A組より順番で実施予定

1年生7クラス280名 2年生8クラス320名 職員40名

- 事前に校外避難経路の確認として、学校より避難先である平井中央公園までの約1200mの避難経路をビデオ撮影したものを視聴し、その説明を行う。
- 南海トラフ巨大地震等が発生した場合の、津波からの避難場所として、第1目標として指定されている平井中央公園までクラスごとに徒歩で避難訓練を行う。

参加者感想文

- 稲むらの火についても学習でき、いかに迅速な行動が必要であることが分かった。
- 家に帰って家族と話し合い、家族全員で生き残り、犠牲者ゼロを実現したいです。
- 簡易トイレは、もしもの時に役立つと思うから作り方が分かり良かった。
- 地震のメカニズムや防災に関することをしっかり学び、実際起こったときに自分がどのように行動すべきかをイメージしておく必要があると感じた。
- 校外避難経路は実際の経路の映像を見ながら説明を聞いたので、ある程度のイメージできた。しかし、地域住民も一斉に避難することもイメージすることも必要と感じた。
- 意外とアルファ化米はおいしくいただくことができた。（今年度は家庭に持ち帰り）

成果と課題

【成果】

近い将来発生が危惧される南海トラフ地震をはじめ自然災害に備え、防災への意識を高め、地域防災の担い手として社会貢献できる生徒の育成を目的とし地震や津波についての理解、防災の大切さについて学習が深まった。また、避難経路についても意識が高まった。

【課題】

体育館の改修工事であるため、体育館を使用できないが、全校生徒に防災教育ができるように創意工夫をし、防災意識を高めることに努めていきたい。また、地域との合同防災訓練も検討していきたい。

